

農家のための  
最新情報

# あぐり 最前線



## 土壌分析をしましょう！

### —コスト低減に向けて—

J Aでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(200g)を採土し、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ、住所・氏名・TELと、水稲・野菜(キャベツ、ハクサイ、等・果樹(ミカン、カキ、等)など品目名を記入して、4月14日(金)までに各営農センターへご持参ください。分析結果は5月中旬頃にご連絡いたします。

## 市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

| 4月       |    |    |    |    |    |            |
|----------|----|----|----|----|----|------------|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土          |
|          |    |    |    |    |    | 1          |
| 2        | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8          |
| 9        | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15         |
| 16       | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22         |
| 23<br>30 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29<br>昭和の日 |

| 5月 |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |    |

×は出荷できない日 □は日曜・祝日等

※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、(収穫何日前まで使用可能か/通算使用可能回数)を表しています。農薬は農薬安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。

例)表記が(14日/2回)の場合:収穫14日前までに2回使用可能



水稲栽培の時期が近づいてきました。

育苗手順を確認して、準備しましょう。

### ●種もみの準備

種もみは10aあたり3〜4kg準備します。枝梗がついている場合は、あらかじめ脱芒してください。

### ●塩水選

稔実の良い種もみを得るために実施する重要な作業です。

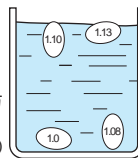
比重液は食塩や硫酸を使って作ります。下段の図を参考に選別を行い、浮いた種子を除去し、沈んだものだけを使用します。選別した種子は、流水で洗って塩分を十分取り除いてください。

## 塩水選

### 参 考

#### 種もみの準備

塩水選 (稔実の良いもみを選ぶ)  
生卵による比重の見わけ方



塩類添加量(水10ℓあたり)

| 種類  | 比重   | 食塩     | 硫酸     |
|-----|------|--------|--------|
| うるち | 1.13 | 2.00kg | 2.56kg |
| もち  | 1.08 | 1.22kg | 1.50kg |

※塩水選後は十分水洗いしてください。

### ●種子消毒

育苗中は、病害を発生させないことが大切です。細菌やカビ対策として種子を消毒してください。

◎ばか苗病・褐条病・もみ枯細菌病・イネシンガレセンチュウ

・モミガードC(水) 200倍

・スミチオン(乳) 1000倍

2種類を加用し、24時間浸漬してください。その後、日陰で半日〜1日風乾してから浸種・催芽作業に入ります。

イネシンガレセンチュウの被害が発生しています。種子消毒を十分に行い、対策をしてください。



イネシンガレセンチュウ

### ●浸種・催芽

浸種・催芽は水稲栽培で最初に失敗する可能性がある作業です。浸種時間が短いと(積算水温100℃未満)発芽揃いが悪くなります。また、水の入れ替えを怠ると酸欠を起こし、催芽の不揃いや、腐敗に繋がりますので注意しましょう。

もみ全体の80%がハト胸状態になったら、水から出して陰干しします。

### ポイント

①水の交換の目安は、浸種3日後の朝からです。2〜3日に1回程度入れ替えましょう。

②播種の前日に水から上げて、水きりしましょう。

③芽が伸びすぎると播種時に折れるので、1mm程度を目安にしましょう。

### ●播種

播種前に床土(約2kg)を均一に入れてください。箱は10aあたり20枚程度必要です。

播種は、床土に十分灌水した後に行います。播種量は、催芽もみで180g/箱、厚播きすると軟弱徒長苗や病害が出やすくなるので注意しましょう。

播種後は、種もみが見えなくなる程度(約1kg)の覆土をします。覆土の上から灌水はカビの原因となるため、行わないでください。

育苗箱の目が粗く床土がこぼれる、根が絡まって育苗箱から取り出すのが大変な場合は、クラパビーなどの防根シートを使用しましょう。

\*田植時には必ず防根シートをはずしてください。



●育苗

育苗中にカビが発生した場合は  
 ・タチガレン(液) 500倍 (は種時及び発芽後/2回)  
 または  
 ・ダコニール1000 1000倍 (は種時から緑化期但し、は種14日後まで/2回)  
 を育苗箱1箱あたり500ml散布してください。

# キャベツ



気温が高くなるので、裂球と病害虫の発生には十分注意してください。  
 収穫の終わった圃場は早めにすぎこみましよう。

●追肥

※石井中早生・Y R春空  
 ▼結球開始期  
 ・ニューパワーユーキ262(80kg/10a)  
 または  
 ・アツマップ545(80kg/10a)

●病害虫防除

※石井中早生・Y R春空  
 ・アクセル(フ) 1000倍(前日/3回)  
 ・バリダシン(液)5 800倍(7日/5回)

# ハクサイ



暖かくなるにつれて芯の上がりも早くなるため、適期収穫を心掛けてください。

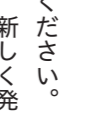
●病害虫防除

▽4月上旬  
 ・グレーシア(乳) 200倍(7日/2回)

●追肥

●コルト(顆) 400倍(3日/3回)  
 ・シグナムWDG 1500倍(7日/3回)  
 ▼4月中旬  
 ・アクセル(フ) 1000倍(前日/3回)  
 ・トランスフォーム(フ) 2000倍(3日/3回)  
 ・バリダシン(液)5 500倍(3日/3回)  
 ◎石灰欠乏症(アンコ)対策  
 ・パフォームCa 500倍  
 結球開始期までに適宜散布しましょう。農薬散布と同時に使用できません。

# 新ショウガ



乾燥すると外葉の発達を抑えられるばかりでなく、石灰欠乏症(アンコ)およびホウ素欠乏症の発生が懸念されるため通路灌水を行います。

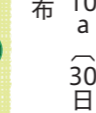
●灌水

●追肥 ※春さかり・黄葉70  
 ▼被覆資材(バオパオ)除去後  
 ・ニューパワーユーキ262(60kg/10a)

●病害虫防除

●追肥 ※ピクセル  
 ▼花蕾発現期  
 ・ニューパワーユーキ262(60kg/10a)  
 ▼4月中旬  
 ・アデオン(乳) 2000倍(3日/5回)  
 ・シグナムWDG 1500倍(7日/2回)

# ブロッコリー



春は花蕾の肥大が早いので、とり遅れないように締まりの良い花蕾を収穫します。品質を保つため、できるだけ涼しい時間帯に収穫して、低温で管理しましょう。

●病害虫防除

●抽苔の発生  
 ニンジン、本葉8枚の頃に10℃以下の低温にあうことで花芽を作り、その後の長日・高温(10〜25℃)で抽苔します。天候をみて、被覆物を除去しましょう。

です。収穫が遅れた実は皮が硬くなり、色も悪くなるため注意が必要です。

●病害虫防除

◎灰色カビ病・菌核病  
 高温多湿で発生が多くなるので薬剤を散布してください。  
 ・ロブラール(水) 1000〜1500倍(前日/4回)  
 ◎うどんこ病  
 完全防除がしにくいので、初期に薬剤を散布してください。  
 ・パレード20(フ) 2000〜4000倍(前日/3回)  
 または  
 ・シグナムWDG 2000倍(前日/2回)  
 ◎アブラムシ類  
 ・ウララDF 2000〜4000倍(前日/2回)  
 ・コルト(顆) 4000倍(前日/2回)

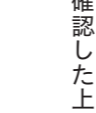
●追肥

通路を溝切りしてぼかし肥料などを施す場合は、4月末までに終えましょう。この時期より遅れると根を傷めます。液肥による追肥は、樹勢に応じて加減し、月2〜3回(1回あたり、窒素成分で1〜2kg/100本)を基準にしてください。樹勢が落ちたら、薄い液肥を混ぜて少量灌水にし、芽の出方を確認した上で追肥してください。

●灌水

活着までは株元灌水(手灌水)とし、活着後は灌水パイプで灌水しましょう。生育が進むにつれて水分要求量が増すので、灌水パイプと併せて畝間灌水をして乾燥防止に努めてください。

# ピーマン



開花から収穫までの日数は、約15〜20日です。たくさん実がついた場合は、早めに収穫し、株の疲労を防ぐことが大切です。

●病害虫防除

●抽苔の発生  
 ニンジン、本葉8枚の頃に10℃以下の低温にあうことで花芽を作り、その後の長日・高温(10〜25℃)で抽苔します。天候をみて、被覆物を除去しましょう。

# シシトウ



●加温栽培

4月に入ると気温の上昇や太陽光線の強まりで収穫量が増加してきます。果実の収穫適期は長さ5.5〜6cmくらいです。果実が長くならないように注意してください。

●無加温栽培

定植時にアドマイヤー1(粒)1〜2g/株を散布していない場合は、アブラムシ類の防除のため  
 ・アドマイヤー(顆) 500〜1000倍(前日/2回)  
 を散布してください。

# トウガン



●定植(トンネル栽培)

本葉5〜6枚の苗を植えます。トウガンは、高温・乾燥に強く、低温・多湿には弱い性質をもちます。畑の準備(畝立てやマルチ)は早めに行い、排水の改善や地温を上げておく準備をしましょう。また、定植時にホットキャップで保温すると、初期生育を早めることができます。ただし、活着後4月中下旬までは夜間の保温に努めるとともに、日中30℃以上の高温にならないように十分換気を行ってください。

●人工授粉・トンネルの除去

気温が低くハチの飛来が少ないため、早朝に人工授粉を行い、確実に着果させます。

# 青ネギ



4月下旬、気温が安定したらトンネルをはずします。  
 ●病害虫防除  
 ◎さび病  
 ・ジマンダイセン(水) 600倍(14日/3回)  
 または  
 ・アミスター20(フ) 2000倍(3日/4回)

●間引き・追肥

本葉3〜4枚の時期に間引きし、その後は遅れないよう追肥をしてください。施肥量は収穫期に近づいて葉の生育がぶり、少しは色が落ちる程度にすることが品質をよくする方法です。  
 また、乾燥が続いて葉と根のバランスがくずれ、急にしおれるような場合は灌水をすることが大切です。

# ニンジン



4月になり徐々に暖かくなると、病気の発生が多くなります。  
 ●病害虫防除  
 ◎さび病  
 ・ジマンダイセン(水) 600倍(14日/3回)  
 または  
 ・アミスター20(フ) 2000倍(3日/4回)

●間引き・追肥

本葉3〜4枚の時期に間引きし、その後は遅れないよう追肥をしてください。施肥量は収穫期に近づいて葉の生育がぶり、少しは色が落ちる程度にすることが品質をよくする方法です。  
 また、乾燥が続いて葉と根のバランスがくずれ、急にしおれるような場合は灌水をすることが大切です。

# ダイコン



春栽培は、天候により生育スピードが変わるため生育に応じて収穫時期を調整しましょう。  
 ●病害虫防除  
 ◎黒斑細菌病・軟腐病  
 温暖多雨の気候で発生し、土壌伝染・空気伝染により被害が拡大します。春作では発病する可能性が非常に高いため十分注意してください。  
 ▼4月中旬  
 ・カセット(水) 1000倍(14日/3回)  
 ▼4月下旬

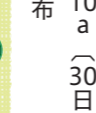
●病害虫防除

●追肥  
 根の発達を促進するため、追肥を中心とした肥培管理が適しています。  
 1次葉の葉数が5〜6枚頃に第1回目の追肥を行います。以降、収穫期まで1カ月ごとに行います。

●病害虫防除

●病害虫防除  
 ◎アキノメイガ  
 ・パダンSG(溶) 1500倍(7日/5回)  
 ◎紋枯病  
 ・バリダシン(液)5 800倍(14日/4回)  
 ◎根茎腐敗病  
 発生した株はすみやかに抜き取り、薬剤で防除してください。  
 ・ランマン(フ) 500〜1000倍(2〜3ℓ/m<sup>2</sup>)(30日/3回) \*土壌灌注  
 または  
 ・ユニフォーム(粒)18kg/10a (30日/3回) \*生育期土壌表面散布

# ダイコン



●病害虫防除  
 ◎黒斑細菌病・軟腐病  
 温暖多雨の気候で発生し、土壌伝染・空気伝染により被害が拡大します。春作では発病する可能性が非常に高いため十分注意してください。  
 ▼4月中旬  
 ・カセット(水) 1000倍(14日/3回)  
 ▼4月下旬

●病害虫防除

●病害虫防除  
 ◎黒斑細菌病・軟腐病  
 温暖多雨の気候で発生し、土壌伝染・空気伝染により被害が拡大します。春作では発病する可能性が非常に高いため十分注意してください。  
 ▼4月中旬  
 ・カセット(水) 1000倍(14日/3回)  
 ▼4月下旬

●マイコシールド 750〜1000倍(14日/3回)  
 ◎キスジノミハムシ  
 成虫は葉を食害し、地際部または土壌中に産卵します。幼虫は根部表面を食害し、1mmの小さな穴を点々とあけ、被害がひどいものは、一面ミミズが走ったようなサメ肌状となります。  
 ◎タネバエ  
 地際部または土壌中で生まれた幼虫は、根部に1〜5mmの穴をあけ、根の表面に対して直角に内部に侵入します。  
 産卵には土壌水分が重要で、畑の耕起後や降雨後などの湿り気のある状態が適しています。そのため、薬剤の土壌混和や降雨後の薬剤散布により防除を行います。

▼播種時(全面土壌混和1回)  
 ・フォース粒剤 6〜9kg/10a  
 ▼被覆資材除去後または間引き後  
 ・ダイアジノン(粒5) 6kg/10a (21日/1回) \*株元土壌混和  
 ▼生育期  
 ・エルサン(乳) 1000〜2000倍 (30日/2回)  
 ・モスピラン(顆) 2000倍(14日/1回)

# ウメ



4月には新芽が開き、果実も急激に大きくなるとともに生理落果の時期となります。  
 ●病害虫防除  
 ▼4月上旬(幼果期)

令和4年産分

「指定野菜価格安定対策事業」  
「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」

下記の通り交付されましたのでお知らせします。

| 事業区分               | 品目     | 対象販売期間     | 交付金額(円)    | 件数  | 交付日        |
|--------------------|--------|------------|------------|-----|------------|
| 指定野菜価格安定対策事業       | 冬キャベツ  | 11/1～12/31 | 883,202    | 79  | 令和5年3月17日  |
|                    | 秋冬だいこん | 10/1～12/31 | 16,388,000 | 52  |            |
|                    | 秋冬はくさい | 11/1～12/31 | 2,036,660  | 124 |            |
|                    | ほうれんそう | 10/1～12/31 | 1,862,000  | 45  |            |
| 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 | こまつな   | 7/1～9/30   | 833,142    | 30  | 令和4年12月14日 |
|                    |        | 10/1～12/31 | 1,697,413  | 44  | 令和5年3月17日  |
|                    | ブロッコリー | 10/1～12/31 | 536,713    | 57  |            |
|                    | しゅんぎく  | 10/1～12/31 | 1,412,434  | 16  |            |
| 合計                 |        |            | 25,649,564 | 447 |            |

生産緑地地区の指定について

生産緑地制度は、市街化区域内において下記の要件に合致する農地を指定することによって、公共空地を含めた緑地の適正な保全を図り、良好な都市環境の形成に資することを目的としています。

○面積要件

- ・一団の農地の面積が500㎡以上であること

○接道要件

- ・建築基準法第42条第1項各号の道路（同条第2項の要件を満たす「みなし道路」も含む）。
  - ・国、県、市が管理する道路（農道など）。
- これらいずれかの道路に農地が4m以上接していること。

※和歌山市立地適正化計画の居住誘導区域及び都市機能誘導区域外の農地については、接道は不要。

○営農継続要件

- ・用排水の設備が整備されていること。
- ・主たる従事者の年齢が60歳未満であること、もしくは60歳未満の後継者を指名すること。
- ・主たる従事者の経営耕地面積が3,000㎡以上、もしくは主たる従事者の直近3年間における農業収入額の平均が50万円以上であること。

(注) 指定しようとする農地に権利（所有権、抵当権等）が設定されている場合、当該権利者全員の同意を得る必要があります。

生産緑地地区に指定されると

- (1) 農地として管理しなければなりません（原則30年間）。
- (2) 農地転用や建築などが法律により制限されます。
- (3) 翌年度から固定資産税・都市計画税が見直されます。
- (4) 農地内に生産緑地地区の標識が設置されます。

生産緑地地区の指定を受けようとする場合は、必ず審査申込期間内に和歌山市役所まちなみ景観課までお越しください。

申込期間 令和5年5月1日(月)～5月31日(水) (土、日、祝日を除く)  
8時30分～17時15分

必要書類

- ①生産緑地地区指定審査申込書  
※審査申込書は、まちなみ景観課の窓口にて直接配布、もしくは和歌山市役所HP「生産緑地について」からダウンロードをすることもできます。
- ②固定資産税納税通知書

【お問い合わせ先：和歌山市役所まちなみ景観課】

住所：和歌山市七番町23（市役所本庁9階） 電話番号：073-435-1082

市役所HP  
「生産緑地について」



モモ

今月は、開花も満開期を迎え、摘果の時期となります。

●摘果

果実肥大に差が見られる、満開後40日頃から開始し、硬核期が始まる満開後50日頃までには終了します。樹全体では1〜2割増しとしますが、樹勢・品種・剪定程度・地力によって加減し、生理落果の多い品種では2〜3割多くします。なお、日川白鳳などの早生品種は果実が小さいので早めの着果制限が必要です。硬核期前の仕上げ摘果を重視しましょう。

●結果枝へのならせ方

結果枝への着果は、短果枝は先端部に、中・長果枝は中央部を中心にならせます。着果位置と果実品質との関係を見ると、いずれも先端に着果させた果実が大きく、糖度も高いです。しかし、中・長果枝では核割れ果や軟肉果の発生が多く、果実の大きさにもバラツキが見られます。また、葉のある部位の果実の品質がすぐれているので、短果枝では枝ずれなどが起きにくい先端部に、中・長果枝では果実品質のぶれが少ない中間部を中心に着果させます。

●病害虫防除

- ▽4月上旬(満開直後)
  - せん孔細菌病 150倍(21日/5回)
  - マイコシールド 150倍(21日/5回)
  - 黒星病・灰星病 1000倍(前日/3回)
  - トリフミン(水) 1000倍(前日/3回)
  - アブラムシ・シンクイムシ類

- ・スタークル(類) 200倍(前日/3回)
- ▽4月下旬(新梢伸長期)
  - せん孔細菌病
  - マイコシールド 150倍(21日/5回)
  - 黒星病・灰星病 200倍(前日/3回)
  - ストロビードF 200倍(前日/3回)
  - アブラムシ・シンクイムシ類
  - モスピラン(顆) 200倍(前日/3回)

カキ

●病害虫防除

- ▽4月中旬 ※刀根早生
  - フジコナカイガラムシ・カキノヘタムシガ
- 越冬した害虫は、結果母枝先端の芽や葉柄に集まる習性があります。
  - ・トクチオン(水) 800倍(75日/2回)
  - うどんこ病
- 病原菌は枝や樹皮表面に付着して越冬し、新梢の葉に感染・発病します。
  - ・サルファゾール 500倍(制限なし)
- ▽4月下旬
  - 摘果作業

カキは養分吸収を開始する時期が遅く、発芽から開花期までに必要とする養分はほとんど前年に蓄えられた貯蔵養分によってまかなわれています。残す蕾は1結果枝に1蕾が基本です。ヘタ4枚が揃い充実した傷のない大きい蕾で、結果枝中部の下向きか横向きの蕾を残します。下向きの結果枝や新葉が5枚以下の弱い枝は全て摘果しましょう。遅れ花も、品質がよくないため全て除去しましょう。

ミカン

4月になると気温の上昇とともに病害虫の発生が多くなります。適宜防除に努めてください。雨、風によって伝染する「そうか病」「かいうよう病」などの発生に注意しましょう。

●病害虫防除

- ▽4月上・中旬(発芽直後)
  - 4〜5月頃に雨が降り続いて比較的低温の年は、日照不足によりいつまでも葉が軟弱で病気に侵されやすい状態になります。また、病原菌の活動も盛んな時期です。病原菌は風や雨によって運ばれ、葉や果実の上で発芽し被害が拡大するため薬剤防除が必要です。新芽がわずかに伸びた頃が防除適期です。
  - そうか病
  - ・デラン(フ) 1000倍(30日/3回)
  - または
  - ・ナティイボ(フ) 1500倍(前日/3回)
- 摘果

樹勢が弱く、ベタ花になりやすいゆら早生などでは、発育枝がほとんど出ないため、放置すると枯れこみやすくなくなり、そのため、主枝先端部を摘果し、五月芽を発生させ樹勢回復を図っていくことも大切です。作業は、蕾が大きくなって開花始めまでの10日間に行いましょう。

○かいうよう病

特に風あたりの強い園地で多く発生し、山間地で霧の発生しやすいところや低温で水はけが悪いところでも発生しやすいとなります。防風垣を設置して発生を予防しましょう。毎年発生が見られる園地では、落弁期から防除を行います。

●黒星病・すす斑病

4〜5月にかけて雨の多い年に発生が多く、特に低温多湿地や通風の悪い園地は発病しやすいため、排水・通風を良くすることが重要です。防除時期は、肥大初期(4月上旬)と小豆粒大期(4月中旬)に行いましょう。

・スコア(顆) 300倍(前日/3回)

▽4月下旬(果実肥大期)

- かいうよう病
- ・マイコシールド 1500倍(21日/4回)
- 黒星病・灰星病
- ・オルフィンプラス(フ) 300倍(前日/3回)
- ケムシ類
- ・マブリック(水) 20 400倍(21日/2回)

●実肥

▽4月下旬  
生理落果終了時から結実時に、果実肥大と新葉の生育促進のため実肥を施用します。

●灌水

晴天が1週間以上続き、土壌が乾燥した場合、1樹あたり100ℓ程度灌水してください。

# 農業振興資金

特別  
金利  
年

# 0.2%

保証料  
負担なし

(固定金利)  
※令和5年1月4日現在



● 農機具に ● 農地の購入・改良に ● ハウスや農業用倉庫に ● 果樹・花木に

● **ご利用いただける方**

組合員の方、農業法人、農業団体など  
※個人の方のご利用は、原則として、貸出時の満年齢が20才以上かつ完済時の満年齢が80才未満の方に限ります。

● **ご融資金額**

100万円以上1億円以内

● **お使いみち**

- ・農機具(中古農機・軽トラック等を含む)の購入
  - ・ハウスや農業用倉庫の建設
  - ・農地の購入や改良
  - ・果樹や花木等の植栽や育成
  - ・家畜の購入や育成
  - ・発電・蓄電設備の取得
- ※ただし、売電目的の太陽光発電設備は除きます。

他金融機関からの  
借換にもご利用  
いただけます

● **ご融資期間**

20年以内(お使いみちにより異なります)

● **ご返済方法**

元金均等返済、元利均等返済  
(年1回、年2回、または毎月返済)

● **担保・保証**

- ・和歌山県農業信用基金協会の債務保証(場合により担保、保証人が必要となります。)
  - ・保証料(年0.33%)をJAが全額助成します。
- ※予算枠に達し次第終了となります。  
(保証料率は令和5年1月現在のもの)

● **基準金利を年1.2%とし、借入実行日から**

**最大3年間はJAバンク利子補給(補給率は年1%)を適用します。**  
※金利は金融情勢等の変化により見直しさせていただく場合があります。

● **JAバンク利子補給適用終了後は、JAによる**

**年1%金利引下げ措置を4年間適用します。借入実行日から8年目以降の適用金利は年1.2%(固定金利)とします。**

● **その他**

・お申込みに際しては、所定の審査をさせていただきます。  
審査の結果によっては、ご希望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは、  
最寄りの営農センター・支店窓口  
または営農指導員・渉外担当者まで

インターネットで  
仮申込みができます!

※農業法人、農業団体の方は、JA窓口にてお申込みください。



## JA農機ふれあいフェア

2月、JAわかやま、JAながみね、JA紀の里、JA紀北わかみの共催で「JA農機ふれあいフェア2023」をJA紀の里西部流通センターで開催しました。協同組合のネットワークを生かした毎年恒例のビッグイベントです。コロナ禍を経た3年ぶりの開催にも関わらず、多数の来場者で会場は賑わいを見せました。

イベントには農機14社、営農資材8社のメーカーが参加し、チェーンソーや充電式剪定ハサミをはじめ、最新機能を搭載したトラクターやコンバイン、防除機など約800点が並びました。JA農機担当職員やメーカー担当者による説明に加え、実演や体験を実施。来場者からは「一度に製品を比較できました。来てよかった」と大好評でした。

